

シリーズ 人権

第87回

市民意識調査を受けて Vol.5



いくつになっても支え合い ～地域の中で安心安全に暮らせる社会へ～

近年、少子高齢化、核家族化が進む中で一人暮らしの高齢者が増え、特殊詐欺の被害や孤独死などが社会問題となっています。

津市の高齢化率(総人口に占める65歳以上の人の割合)は、28.84%で4人に1人以上が高齢者です。全国の高齢化率が28.1%であることを考えると、やや高い割合です(いずれも平成30年10月1日時点)。

また、平成29年度に市民を対象に実施した「人権問題に関する市民意識調査」では、「高齢者の孤独死は、地域社会に問題があると思いますか」という問いに対して、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合が59.1%と過半数を占め、多くの人が社会問題として理解していることが分かりました。

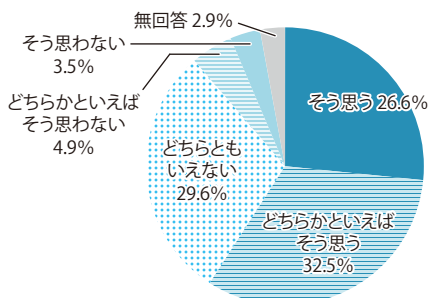
しに行くのは気が引けるけど、サロンだと自然と話すことができてうれしい」「簡単なゲームをすることで自然と話が弾むし、日頃感じていることやちょっとした悩み事を相談しやすい」「最近、サロンで見掛けない人の話になり、足の具合が悪くなってきたようだという話を聞くと、みんな気に掛け合っていることを実感する」というような声がありました。普段からの関わりがあるからこそ、ここ数日見掛けない、郵便物や新聞がたまっているなど、いつもと違う異変に気付くことができるのではないのでしょうか。

津市では、こうした地域での身近な見守りなどの活動を行う「生活・介護支援サポーター」を養成しています。生活・介護支援サポーターは、地域で暮らす高齢者が適切な支援が受けられるように働き掛けたり、見守りを希望する高齢者がいれば定期的な訪問をしたりするほか、サロンの立ち上げや支援、参加の呼び掛けなども行っています。

年齢を重ねても生きがいを持って安心して暮らしていけるよう、お互いの個性と価値観を尊重しながら、誰もが支え合える社会をめざしていきましょう。

(執筆担当：高齢福祉課)

設問 高齢者の孤独死は、
地域社会に問題があると思いますか
(人権問題に関する市民意識調査より)



そのような中、市内で地域のサロンに月1回参加しているという一人暮らしの高齢者から話を聞きました。サロンという地域の身近な人が集まる場所に行くことで、「わざわざ世間話を

生活・介護支援サポーター養成講座

津市では、生活・介護支援サポーター養成講座を年間1・2回ほど実施しています。詳しくは高齢福祉課(☎229-3156)までお問い合わせください。